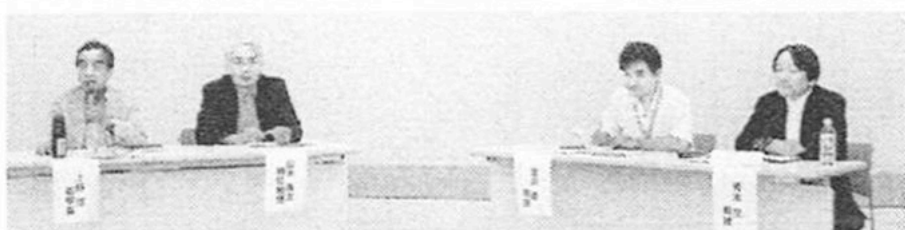


環境負荷低減で 課題解決策紹介

首都大学東京

首都大学東京は、東京都との共催による大都市研究リーディンググリーンディングプロジェクト発表会

を東京・西新宿の都庁第二本庁舎ホールで開いた。



「環境負荷低減のための都市建築ストック活用型社会の構築―省エネ・高齢化社会に対応した建築ストックの活用について―」をテーマに、東京の課題解決に向

けた首都大学東京の取り組みを紹介した。

発表会では、山本康友都市環境学部特任教授が「庁舎・学校等の省エネとCO₂削減方法の研究」、青木茂戦略研究センター教授が「リファイニング建築開発プロジェクト研究」、上野淳副学長が「多摩ニュータウンの再生・活性化プロジェクト研究」について、それぞれ講演した。

上野副学長が座長を務め、パネリストとして、山本特任教授、青木教授、吉川徹都市環境学部教授が参加したパネルディスカッションも行われた。写真。この中で、山本特任教授は「省エネを進めるためには、企画、設計、工事発注、施工、運転までのすべてのフェーズを見据えることが重要だ」と指摘した。青木教授は、リファイン建築の事例

を紹介するとともに、「学校の耐震化が進められているが、何年持つのかという長期的に使う観点がないのではないか」と指摘した。